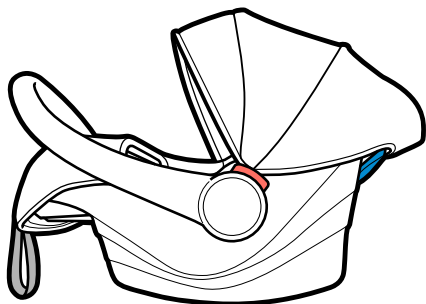


## クレイドル・オーカ ファーストキャリア-II



企画・販売



株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

<http://www.ca-sansho.co.jp/>

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日は除く)

☎0120-034-017

受付時間/AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

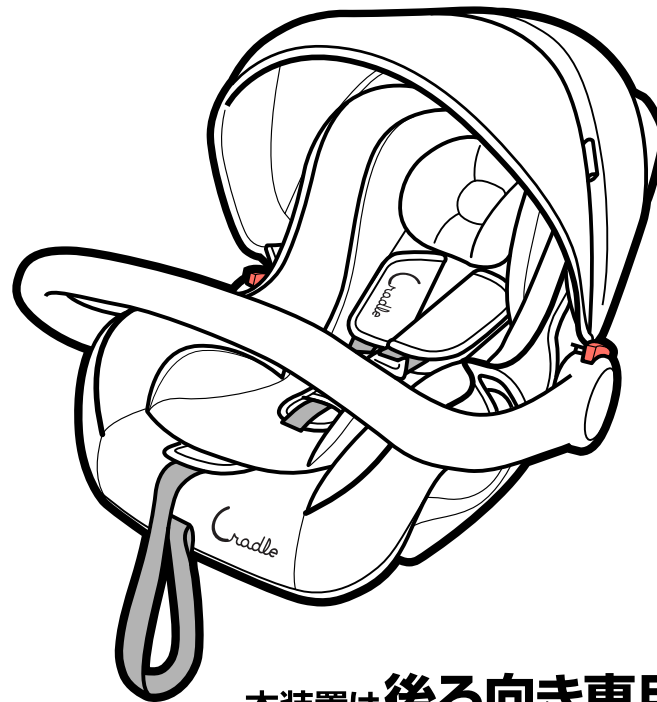
CR1100-2020-08

Cradle®

## クレイドル・オーカ ファーストキャリア-II

### 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、  
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



本装置は**後ろ向き専用**です。

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないで  
ください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

# ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

## 本装置について

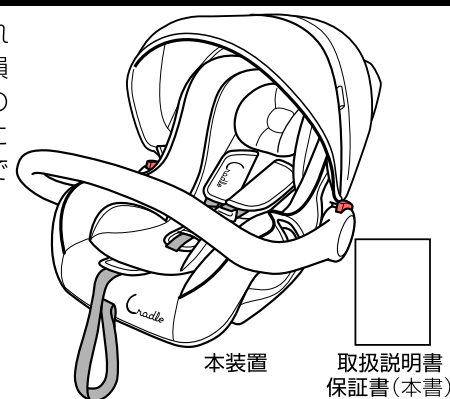
- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(UN/ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両の「取扱説明書」に、「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置は正しく取り付けできます。
- 本装置は、3点式シートベルトを装備されている座席のみご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

## 目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
内容物の確認	2
本装置の特徴	2
ご利用にあたって	3
ご使用いただけるお子様の目安	3
●取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点	4
●安全にご使用いただくために	5
●各部の名称	11
●各部の使い方	12
ハンドルの使い方	12
バックル・タングの使い方	13
肩ベルトの長さ調節	14
肩ベルトの位置調節	15
サンシェードの使い方／インナークッションの使用期間	16
●チャイルドシートとして使用する	17
取り付け前のご注意	17
取り付け方	18
お子様の乗せ方	20
お子様の降ろし方	22
取り付け後の安全チェック	23
●ベビーキャリーとして使用する	24
●ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する	26
●お手入れのしかた	27
●保証規定／保証書	30

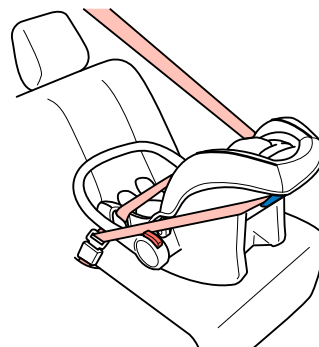
## 内容物の確認

- 本装置には、次のものが同梱されています。足りないものや破損している箇所がある場合はそのまま使用しないで、本書巻末に記載の「お客様相談窓口」までご連絡ください。



## 本装置の特徴

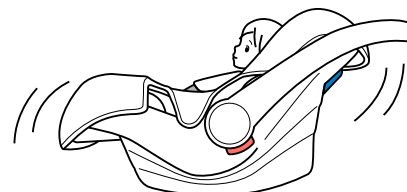
- 本装置は、チャイルドシートとして使用できるほか、ロッキングチェア、ベビーキャリー、ベビーチェアとしてもご使用いただけます。



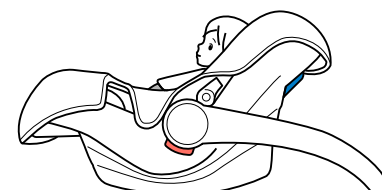
チャイルドシート



ベビーキャリー



ロッキングチェア



ベビーチェア

## ご利用にあたって

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ずこれらの内容を十分に理解したうえでご使用ください。

### 警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

### 注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

### 補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

**×** 図に表示している行為の禁止を示しています。

## ご使用いただけるお子様の目安

本装置は、次の条件をみたくお子様にご使用いただけます。  
本装置の使用可能な範囲は、安全規格(UN/ECE R44/04)の規定である、お子様の体重を基準に使用範囲を定めています。この範囲にあてはまらない場合は、使用しないでください。また、この範囲はチャイルドシートだけではなく、ロッキングチェア、ベビーキャリー、ベビーチェアにおいても共通です。

### 体重の目安

**2.5kg以上13kg未満の**  
お子様

(新生児～1歳頃まで)

### 身長目安

**60cm以上80cm未満の**  
お子様

(本装置に乗せて  
頭が本装置から上に出ない)



身長・年齢が使用できる目安の範囲内であっても、お子様の体重が13kgを超えた場合はご使用いただけません。

### 補足

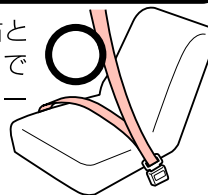
長時間連続してのご使用は、お子様の負担となりますので、1時間くらいを目安として、お子様を降ろして休憩を取るようにしてください。  
運転者以外の同乗者は、お子様から目を離さないようにしてください。  
同乗者がいない場合は、運転者が安全に留意して、休憩時などにお子様の様子を確認してください。

## 取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。  
2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

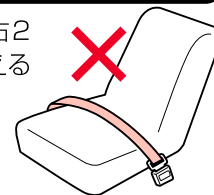
### 3点式シートベルト

腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト。



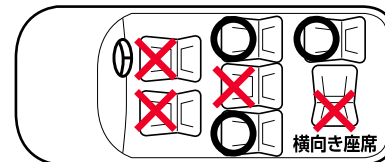
### 2点式シートベルト

腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



### 取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



○ 取り付け可能    × 取り付け不可

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点	取り付けの可否
<b>ELR</b> 緊急ロック式 (巻き取り機能付)	ゆっくり引き出すと自由に入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。	シートベルトをゆっくり引き出して取り付けてください。	○
<b>AELR</b> (チャイルドシート固定機能付)	すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。	すべて引き出して使用できません。チャイルドシート固定機能を解除して使用してください。	○
<b>NRマニュアル式</b> <b>NLR非ロック式</b> (巻き取り機能付)	ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。	ベビーシートに合わせ長さを調整して取り付けてください。	○
<b>ALR</b> 自動ロック式 (巻き取り機能付)	引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。	使用できません。	×

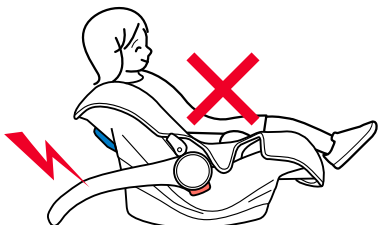
# 安全にご使用いただくために

## 警告

**本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。**

**※安全上、前座席にはご使用いただけません。**

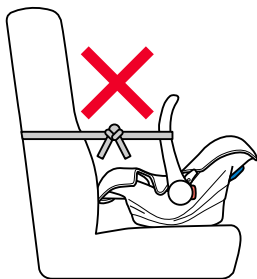
- お子様の頭頂部が出たり、足が大きく本装置からはみ出してしまう場合は、使用しないでください。



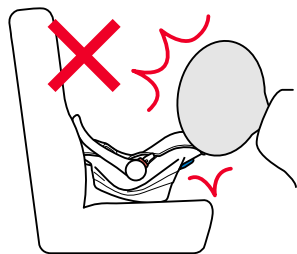
- 安全のため、必ず後ろ向きで取り付けてください。

前向きでは使用できません。

- 取り付ける際は、必ず車両のシートベルトで固定してください。ひも等シートベルト以外のもので固定して使用しないでください。

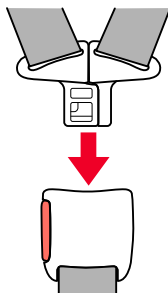


- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。



- 『取扱説明書』をよく読んでから取り付けてください。しっかりと取り付けできない場合は、使用しないでください。

- 左右のタンクを重ね合わせて、「カチッ」と音がするまで確実にバックルに差し込んでください。

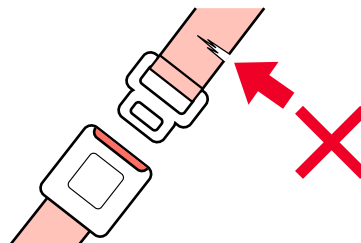


- お子様はバックルボタンを押してしまうおそれがありますので、時々タンクがバックルから外れていないかを確認してください。



- 本装置を取り付けた後に、車両の座席のリクライニング操作や移動をすると、取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

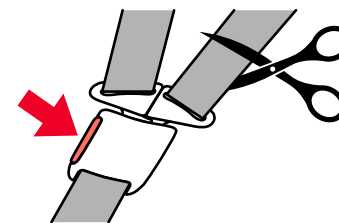
- 車両のシートベルトに傷がある場合、その座席には決して取り付けしないでください。



- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者に傷害を及ぼすおそれがあります。



- 事故などの緊急時は、バックルボタンを押し、肩ベルトを外してお子様を車外に脱出させてください。肩ベルトが外れない場合は、肩ベルトを切断してください。



# 安全にご使用いただくために

## 警告

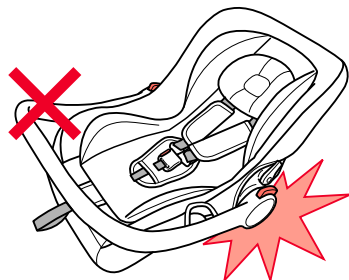
- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。



- 肩ベルトが緩んだ状態で使用すると、お子様が落下したり肩ベルトが首に巻きついて窒息するおそれがありますので、正しい長さに調節してからご使用ください。

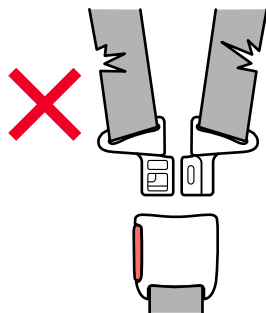


- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



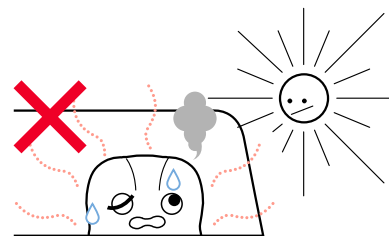
- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないか確認してからご使用ください。

- 本装置の肩・腰ベルトに傷が付いた場合は、使用をただちに中止してください。

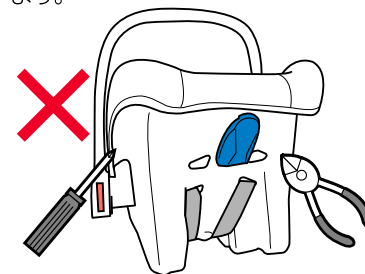


## 注意

- 直射日光が当たったり、夏の日差し強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタンクなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがあります。日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。



- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く) 万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。

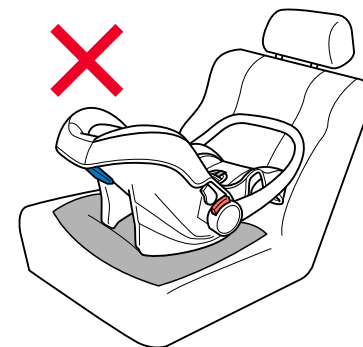


- 本装置を座席の可動部やドアに挟まないように注意してください。

- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

- 走行中は、本装置の操作・移動は決してしないでください。取り付け状態の確認、お子様の固定状態を確認される場合は、車両を安全な場所に停めてから確認・操作をするようにしてください。

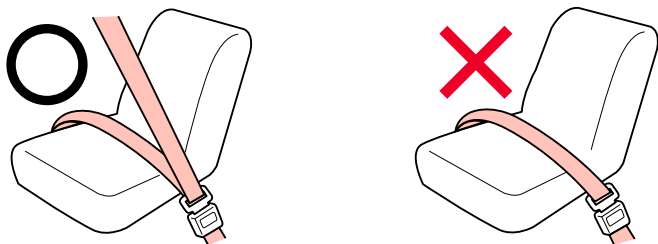
- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)



# 安全にご使用いただくために

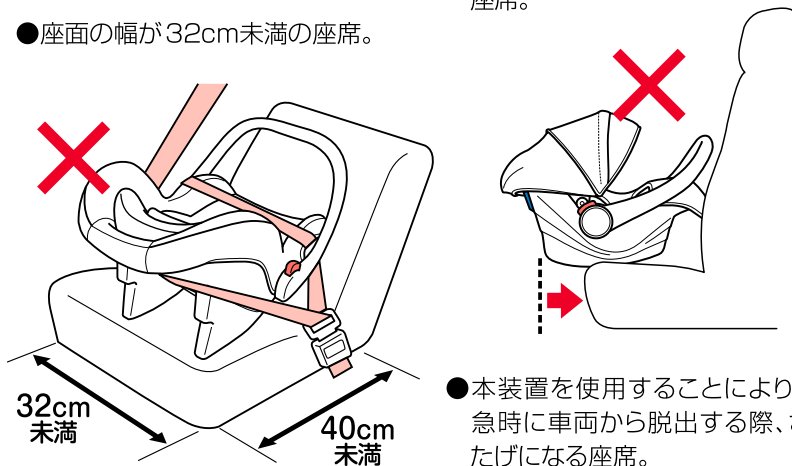
## ⚠ 注意

- 本装置が取り付けられるのは、3点式シートベルトの座席のみです。2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。



## 取り付けできない座席

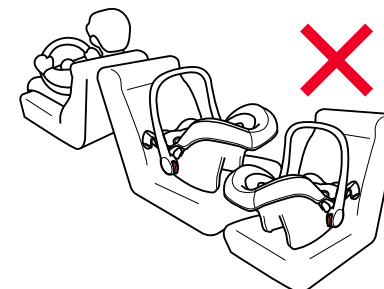
- シートベルトの全長が230cm以下の座席。
- シートベルトが装備されていない座席。
- 座面の奥行きが40cm未満の座席。
- 本装置が座席から極端にはみ出す座席。
- 座面の幅が32cm未満の座席。



- 本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、さまたげになる座席。

## 取り付けできない座席

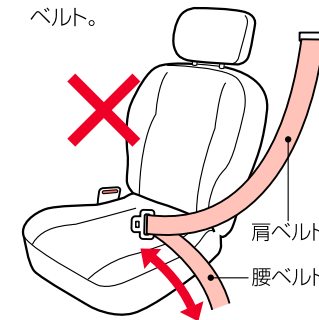
- 本装置のベルト通しよりも、前にシートベルトが出ている座席。
- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。
- 横向きや後ろ向きの座席。



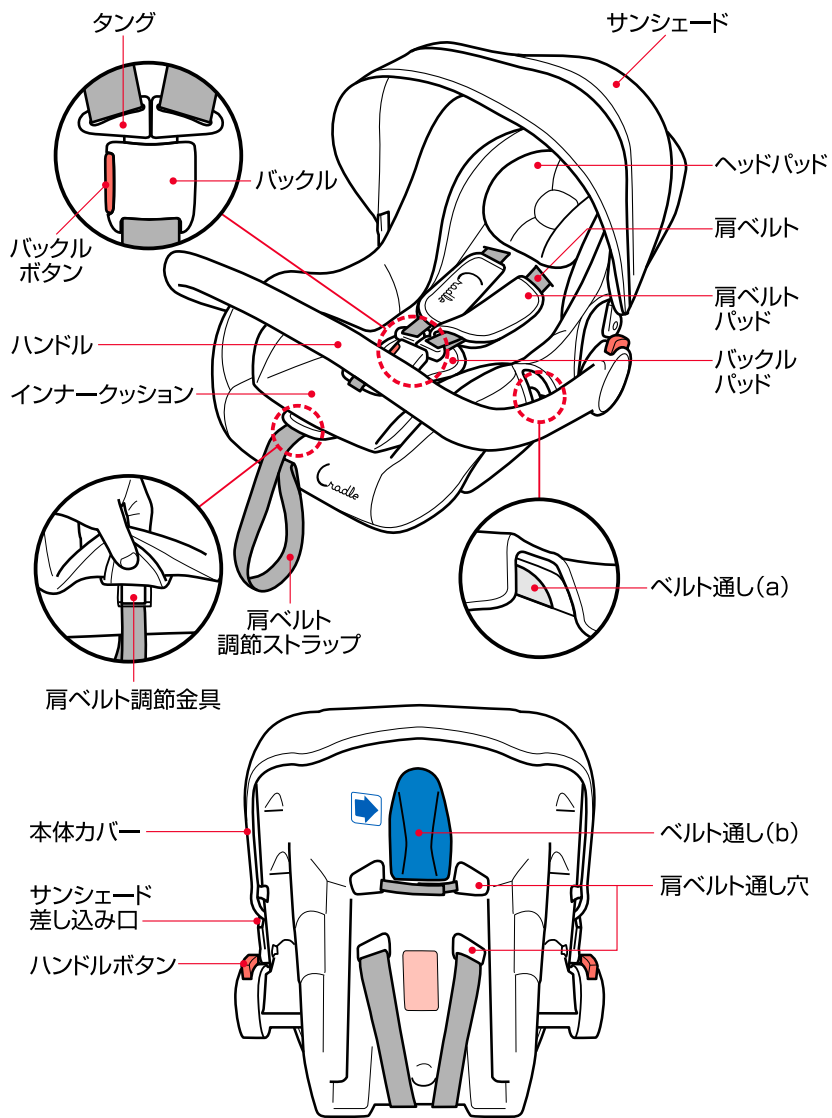
- 自動式ショルダーベルト(パッシュシートベルト)\*が、装備されている座席。
- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。
- 腰ベルトにELR\*が装備されている座席。

\*ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。

\*腰ベルトをゆっくり引くと自由に入出力し、衝撃を感知した際にロックするシートベルト。



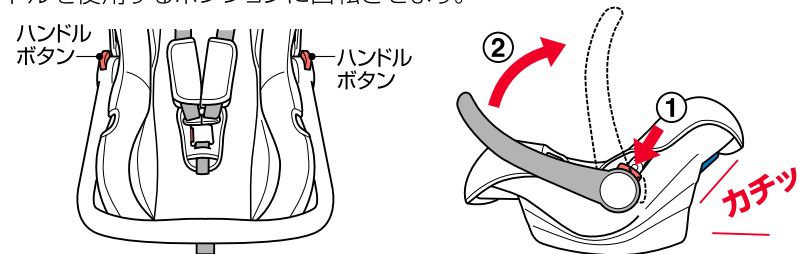
## 各部の名称



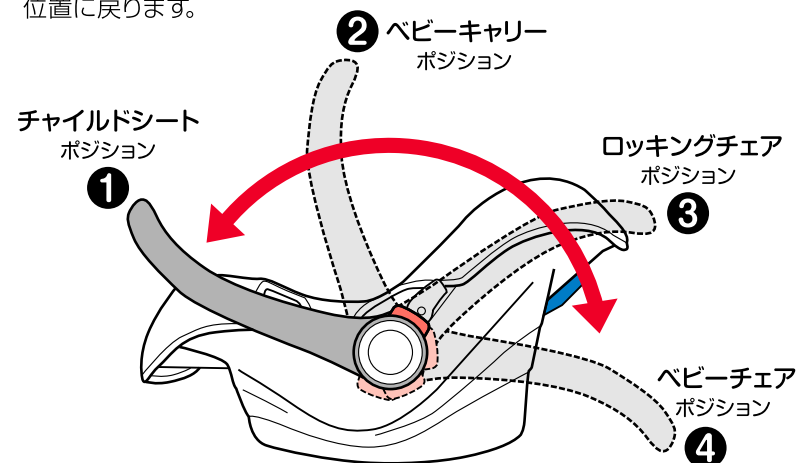
## 各部の使い方

### ハンドルの使い方

- ハンドルは、4つのポジションでご使用いただけます。  
ハンドルの付け根の左右にあるハンドルボタンを同時に押しながら、ハンドルを使用するポジションに回転させます。



- ハンドルは任意のポジション(①～④)まで回転させると、「カチッ」と音が出て固定されます。  
ハンドルが任意のポジションになると、押し込まれたハンドルボタンは元の位置に戻ります。



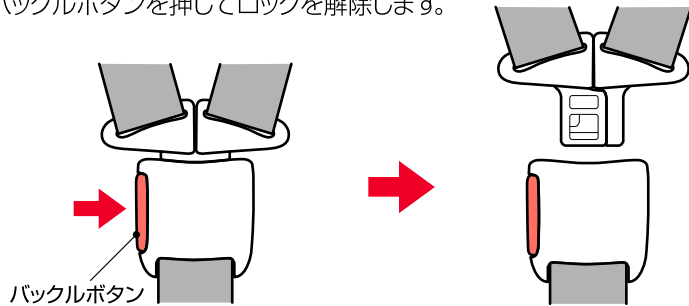
注意

ハンドルを回転させる時、お子様の手や指を挟まないように注意してください。固定しないままにしておくと、思わぬ事故につながる場合がありますので、ハンドルは必ず固定した状態でご使用ください。

## バックル・タングの使い方

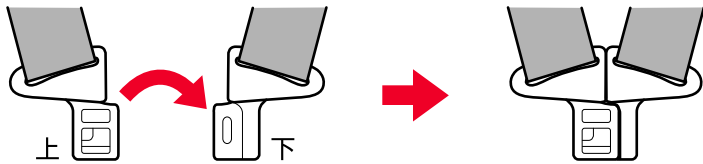
### ●取り外し方

バックルボタンを押してロックを解除します。

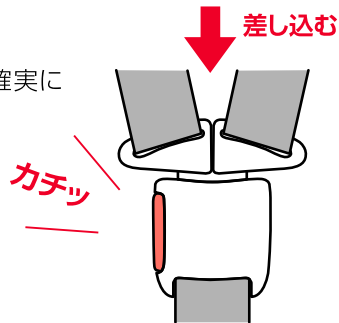


### ●取り付け方

タングを上下に重ね合わせます。



「カチッ」と音がするまで、タングを確実にバックルに差し込みます。



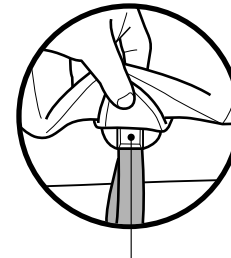
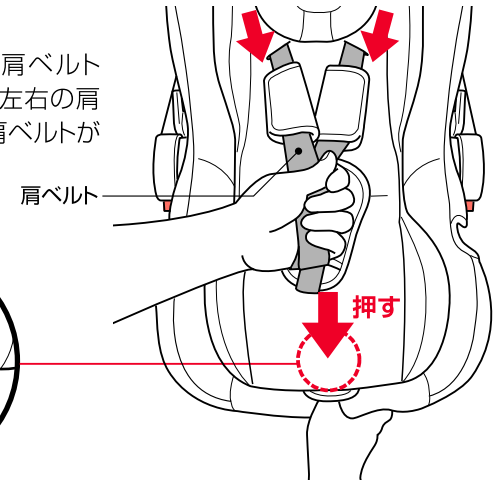
バックルが正しく固定されていないと、使用中に急にバックルが外れ、お様が本装置から飛び出したり、落下するなど重大な事故につながるおそれがあります。

バックルに異常がある場合は決して使用しないでください。また、バックルの中にゴミや食べかすが入らないように、使用しない時もバックルは固定するようにしてください。

## 肩ベルトの長さ調節

### ●肩ベルトを緩める

本体カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを手前に引くと、肩ベルトが緩みます。



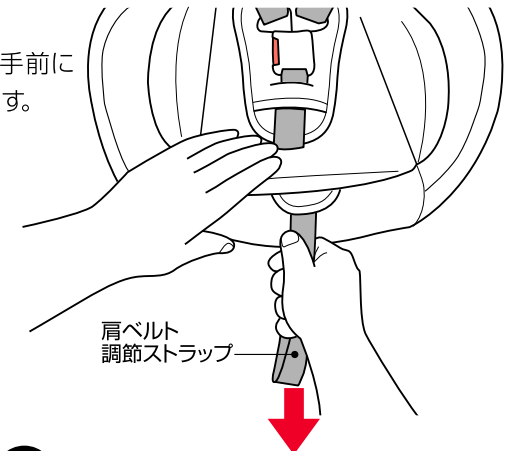
肩ベルト調節金具



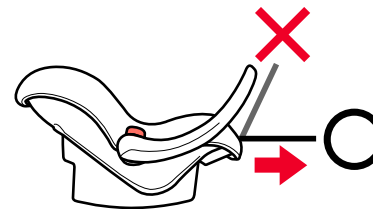
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、肩ベルトを同時に引き出してください。

### ●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



肩ベルト調節ストラップ



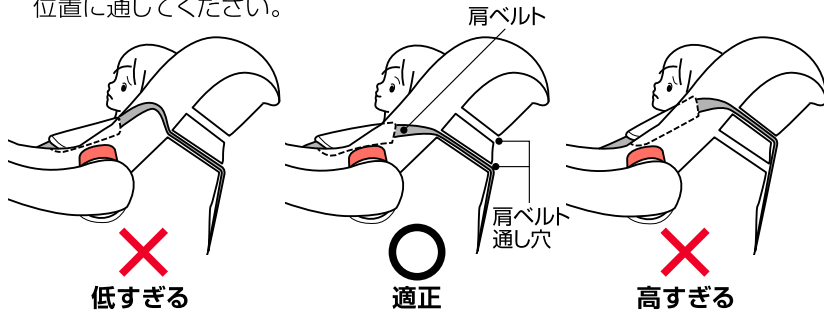
肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



## 肩ベルトの位置調節

### ●位置の調節

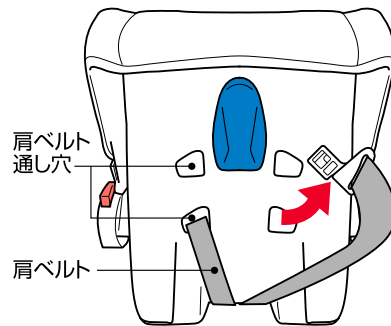
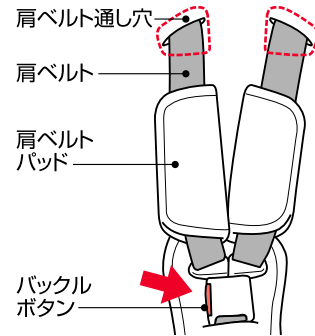
お子様の肩よりやや低い位置の肩ベルト通し穴に通してください。  
 お子様の肩より肩ベルト通し穴が上になる場合は、肩の位置に最も近い位置に通してください。



**1** バックルボタンを押して、肩ベルトのロックを解除します。

**2** 背もたれ裏側の肩ベルト通し穴から、肩ベルトを引き抜きます。

**3** 肩ベルトを、お子様の身体に合った位置の肩ベルト通し穴に通し、肩ベルトパッドを通します。



**警告**

肩ベルト通し穴の位置が、お子様の身体に合っていないと衝撃が加わった時に肩ベルトが外れ、お子様を保護できません。



**注意**

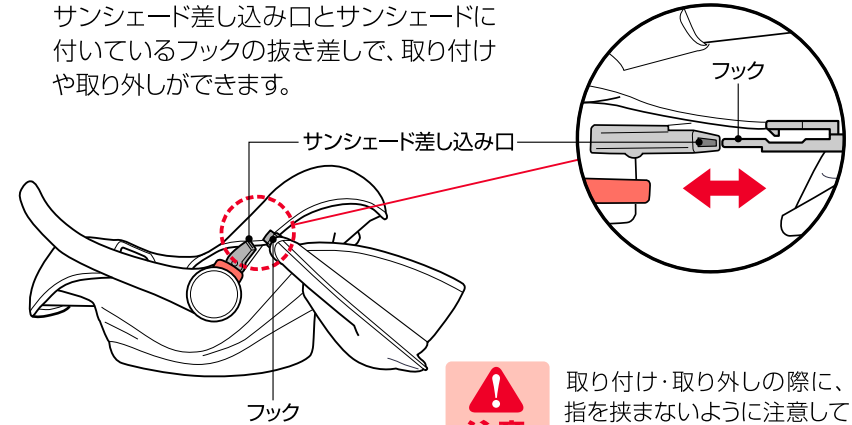
肩ベルトにねじれができないように、また左右の肩ベルトの長さが同じになるように注意しながら調節をしてください。

## サンシェードの使い方

### ●サンシェードの取り付け・取り外し

サンシェード差し込み口とサンシェードに付いているフックの抜き差しで、取り付けや取り外しができます。

〈上から見た図〉



**注意**

取り付け・取り外しの際に、指を挟まないように注意してご使用ください。

## インナークッションの使用期間

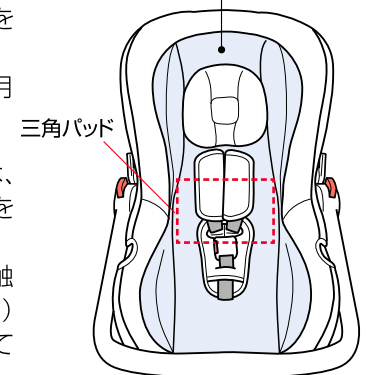
### ●使用期間の目安

7kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。

取り外してよい条件は、7kg以上(6ヶ月頃)で腰と首がすわっていること。

※お子様を乗せて肩ベルトがきつい場合は、三角パッド(インナークッションの裏側)を抜き取ってください。  
 インナークッションは、リバーシブル(肌触りのいいニットと通気性のいいメッシュ)仕様になっていますので、お好みに合わせてご使用いただけます。

インナークッション



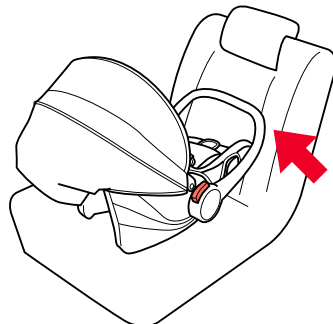
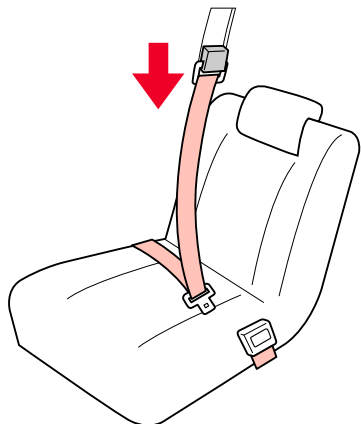
**警告**

本装置の安全性能が発揮できなくなるおそれがありますので、部品を取り外して使用しないでください。  
 インナークッションも安全に関わる重要な部品ですので、取り外してよい条件を満たさない場合は、決して取り外して使用しないでください。

# チャイルドシートとして使用する

## 取り付け前のご注意

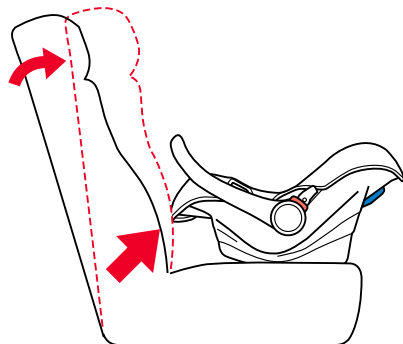
- 高さの調節ができるシートベルトの場合は、最も低い位置にしてください。
- ハンドルの位置は、車両シートの背もたれの方に調節してください。(P12「ハンドルの使い方」参照)



- 本装置が車両シートの背もたれと座面に接するように、設置してください。

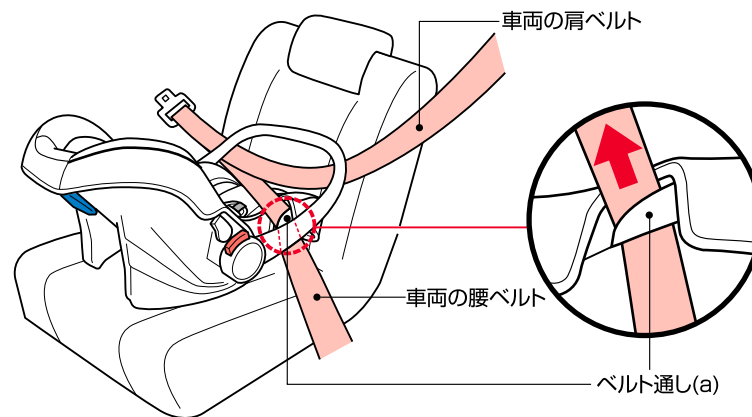
※本装置と車両シートの背もたれが接しない場合、シートの背もたれがリクライニングできる車両の場合は、背もたれをリクライニングさせて調節してください。

- 本装置は、後ろ向き専用です。前向きでご使用できません。

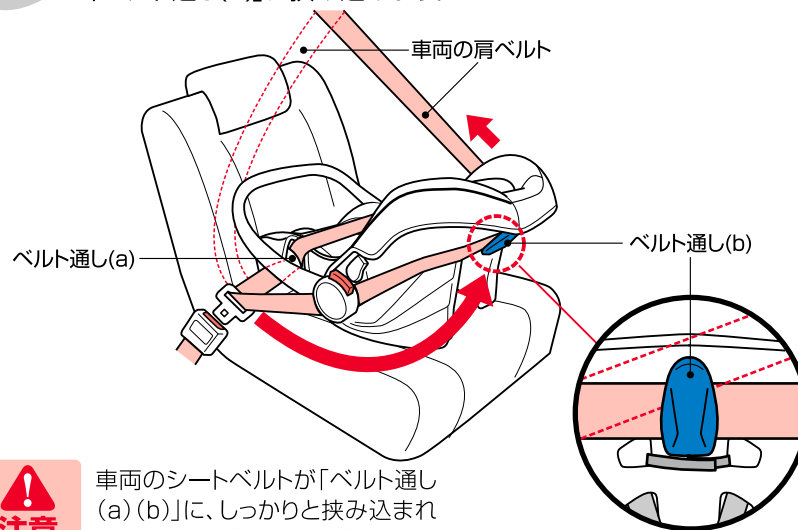


## 取り付け方

- 1 車両のシートベルトを引き出し、車両の腰ベルトを本装置の両サイドにある「ベルト通し(a)」に通します。



- 2 車両の肩ベルトを、本装置の背面にある「ベルト通し(b)」に挟み込みます。

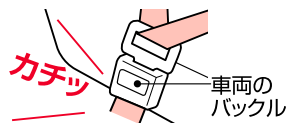


注意

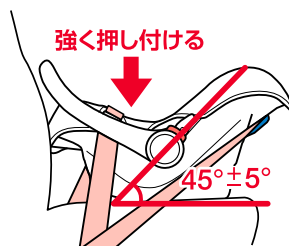
車両のシートベルトが「ベルト通し(a)(b)」に、しっかりと挟み込まれていることを確認してください。

## 取り付け方

- 3** 車両のシートベルトのタングを、車両のバックルに差し込んでセットします。



- 4** 本装置の座面を強く押し付けながら、車両の腰ベルト・肩ベルトの順に引っ張って、車両のシートベルトにたるみがないように固定してください。その際、本装置の背もたれの角度が車両のフロア(水平)に対して  $45^\circ \pm 5^\circ$  になるように調節し固定してください。



※背もたれが上記の角度以上になってしまう場合、本装置の頭部分を寝かせるようにして取り付けてください。

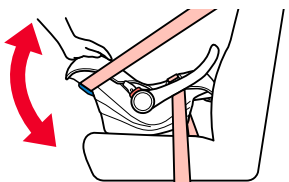


**注意** 本装置の座面部分を押し付けながら、車両の肩ベルトを強く引いて固定すると、よりしっかりと固定することができます。その際、車両の腰ベルトをpushさないようにご注意ください。



**注意** 車両のシートベルトに、ねじれができないように取り付けてください。

- 5** 本装置の上部を軽く揺すり、ぐらつきがないか確認してください。



**警告** ぐらつきがある場合は取り付けが緩い状態ですので、再度取り付けなおしてください。

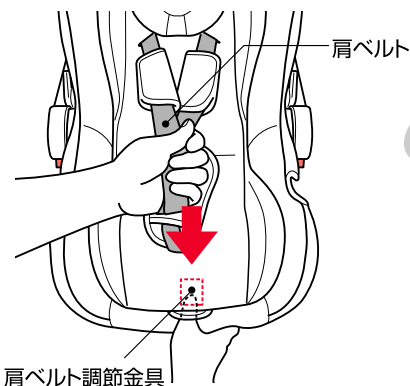
**補足**

車両の前座席を後ろにスライドさせて、本装置の背面に接するようになると、よりしっかりと固定させることができます。

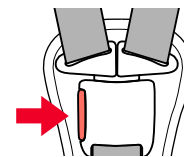


## お子様の乗せ方

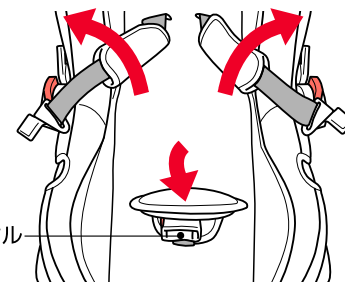
- 1** 本体カバーの下にある肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを同時に手前に引いて、肩ベルトを緩めます。



- 2** バックルボタンを押してロックを解除します。

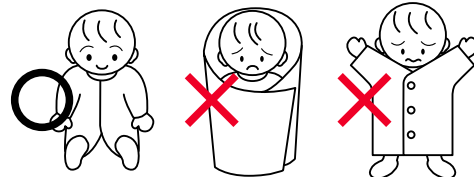
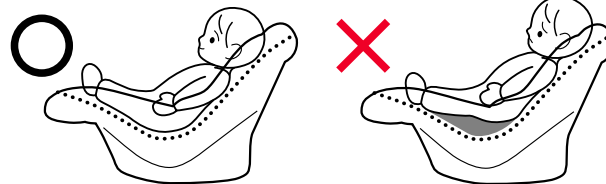


- 3** 左右の肩ベルトを開き、バックルも手前に倒して、お子様を乗せるスペースを確保します。



**注意** 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、肩ベルトを同時に引き出してください。

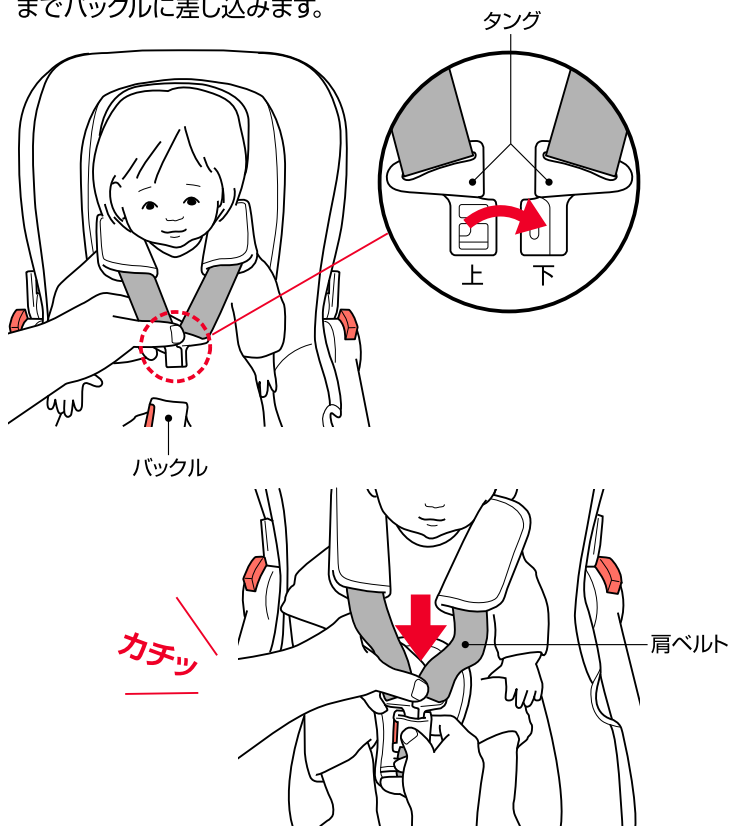
- お子様は、本装置に深く乗せてください。



**警告** おくるみなど手足の出ない衣類、過度の重ね着で使用しないでください。

## お子様の乗せ方

- 4** バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座させます。  
左右の肩ベルトを、ねじれないように肩からかけます。  
タングを重ね合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



**警告** バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

**注意** バックルに差し込む際に、肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分ご注意ください。

- 5** 肩ベルトパッドとお子様の肩の間に指が1本入る程度を目安に、肩ベルト調節ストラップを手前に引いて肩ベルトを締めます。

肩ベルトパッド  
肩ベルト  
肩ベルト調節ストラップ

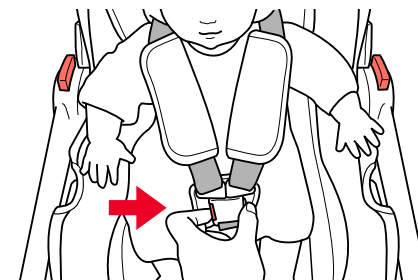


**警告** 肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、肩ベルト調節ストラップは、勢いよく引っ張らないでください。

**注意** 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

## お子様の降ろし方

- 肩ベルト調節金具を押し、肩ベルトを緩めます。  
バックルボタンを押してロックを解除します。  
お子様の腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子様を降ろしてください。



**警告** 肩ベルトにお子様の腕が引っかからないように注意しながら、ゆっくりと降ろすようにしてください。

**注意** お子様を乗せ降ろするたびに、肩ベルトの位置が適正かどうかを確認し、必要に応じて調節してください。

## 取り付け後の安全チェック

取り付けが完了したら、本装置がしっかりと取り付けられているか下記の項目にチェック☑してください。

車両のシートベルトにねじれやたるみがないこと。

お子様の肩ベルトが正しく調節されていること。

本装置のタンクがバックルに確実にセットされていること。

車両のタンクがバックルに確実にセットされていること。

車両のフロア（水平）に対して本装置の背もたれの角度が $45^{\circ} \pm 5^{\circ}$ になっていること。この角度を超えて起こした姿勢では呼吸がしづらい場合がありますので、角度に注意して設置してください。

※調節できない場合は、ご使用いただけませんのでご注意ください。

車両のシートベルトがベルト通しに確実に通っていること。

車両の背もたれに本装置の本体が、すき間がなく接していること。

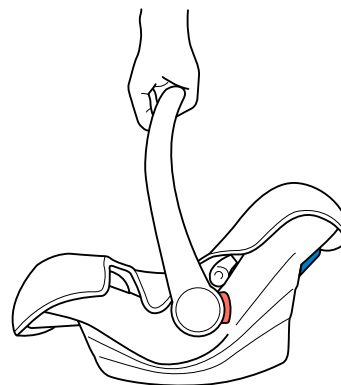
車両フロア

## ベビーキャリーとして使用する

本装置のハンドルをベビーキャリーポジションにセットして、お子様を乗せたまま移動することができます。

●ハンドルを立てた状態で本装置を持つ

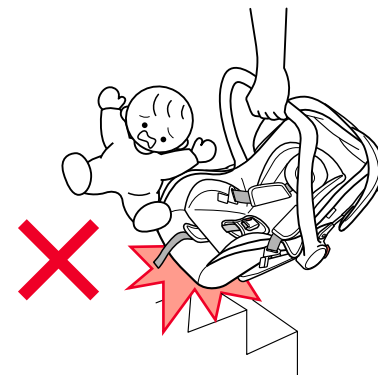
●ハンドルを手でしっかりと握ってもう一方の手で本装置をつかむ



ハンドルがひじからすべり落ちるおそれがありますので、必ずもう一方の手で本装置をつかんでください。

### ⚠ 注意

- お子様を乗せるときは、チャイルドシートとして使用する場合と同様に、タンク・バックルを確実に固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。
- 階段・坂道や段差のある場所は、十分ご注意ください。ぶついたりすると、お子様や運んでいる方がケガをする原因になります。



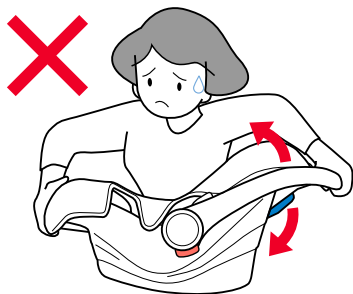
## ⚠️ 注意

●テーブルや椅子の上など、不安定な場所に置いて使用しないでください。本装置のバランスが崩れて落下するおそれがあり、ケガをする原因になります。



●ハンドルを肩にかけて本装置を持ち運ばないでください。運んでいる方が転倒した場合、ケガをするおそれがあります。

●右図のような持ち方は決してしないでください。ハンドルの位置が変わり、お子様が落下するおそれがあります。



●本装置を持ったまま走らないでください。

●使用中は、本装置を地面に対して水平に保つようにしてください。



警告

- ハンドルは確実に固定してください。ハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子様に強い負担がかかるばかりでなく、お子様が本装置から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
- 本装置を持ち上げる際は、必ずハンドルをベビーキャリーポジションにして持つようにしてください。ハンドルを持たずに持ち上げると、バランスを崩し本装置が落下するおそれがあります。
- お子様が落下したり、重大な事故につながるおそれがありますので、本装置を大きく振ったり、揺すったりしないでください。
- 使用しないときでも、安定しない場所や高所に置かないでください。

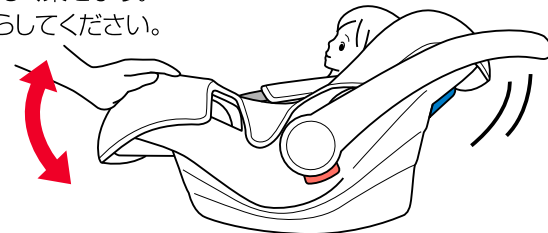
## ロッキングチェア・ベビーチェアとして使用する

P12「ハンドルの使い方」を参照して、それぞれのポジションにしてご使用いただけます。

※お子様の首がすわるまでは、ロッキングチェアとして使用しないでください。

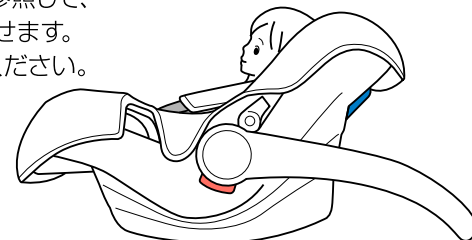
### ●ロッキングチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。ゆっくりとやさしく揺らしてください。



### ●ベビーチェア

P20「お子様の乗せ方」を参照して、お子様を本装置に正しく乗せます。そのまま椅子としてご使用ください。



警告

- 本装置の使用中は、お子様を放置しないでください。常に大人の方が付き添い、お子様の様子を頻繁に確認するようにしてください。
- 重大な事故につながるおそれがありますので、車内や安定しない場所、階段、ドア、窓などの近くで使用しないでください。また、冷暖房など風が直接あたる場所で使用しないでください。



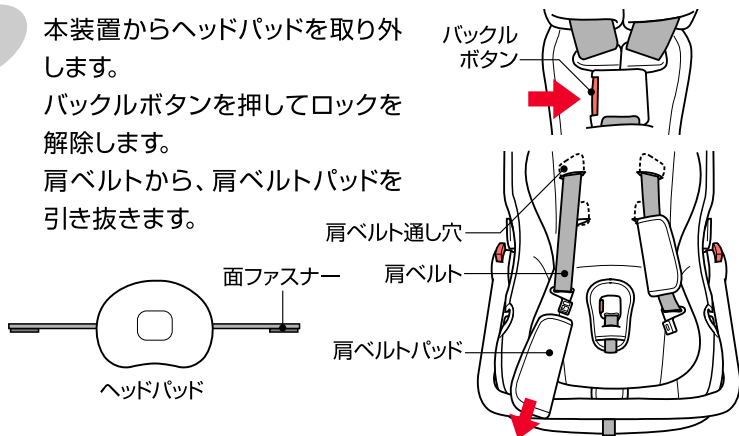
注意

- お子様を乗せるときはチャイルドシートとして使用する場合と同様に、タンク・バックルを固定し、肩ベルトを適正な長さに調節してからご使用ください。
- お子様が乗り物酔いと同様に気分が悪くなるおそれがありますので、長時間にわたる連続使用は避けてください。また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。

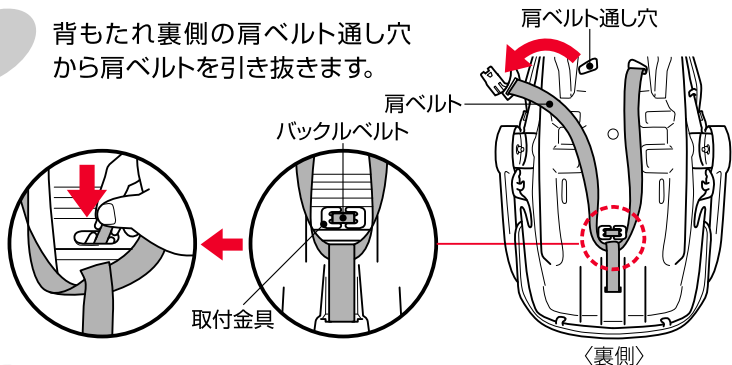
# お手入れのしかた

## 取り外し方

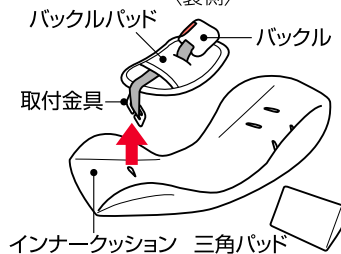
- 1** 本装置からヘッドパッドを取り外します。  
バックルボタンを押してロックを解除します。  
肩ベルトから、肩ベルトパッドを引き抜きます。



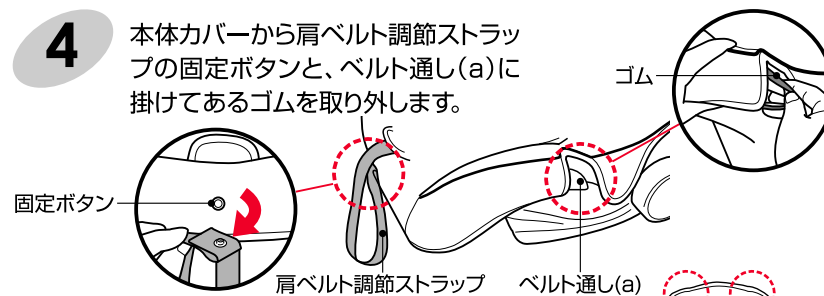
- 2** 背もたれ裏側の肩ベルト通し穴から肩ベルトを引き抜きます。



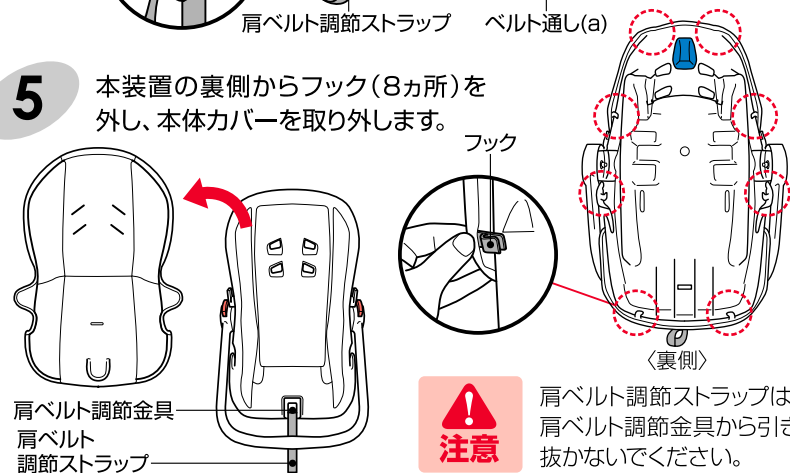
- 3** 取付金具を座面の裏側から押し込んで(上図)バックル・バックルパッドを取り外して、インナークッション・三角パッドを取り外します。  
バックルからバックルパッドを引き抜きます。



- 4** 本体カバーから肩ベルト調節ストラップの固定ボタンと、ベルト通し(a)に掛けてあるゴムを取り外します。

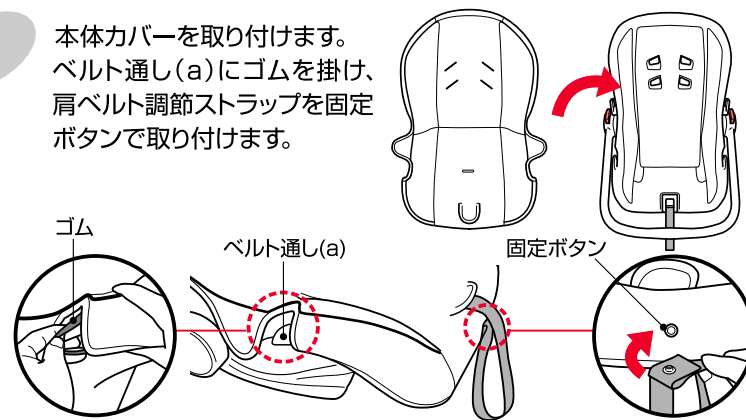


- 5** 本装置の裏側からフック(8カ所)を外し、本体カバーを取り外します。



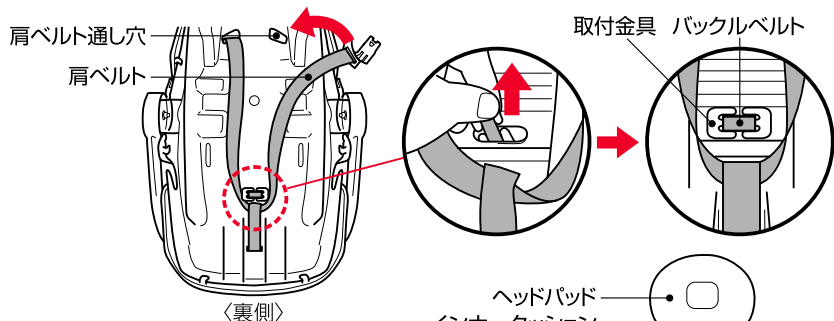
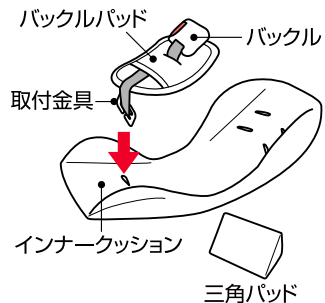
## 取り付け方

- 1** 本体カバーを取り付けます。  
ベルト通し(a)にゴムを掛け、肩ベルト調節ストラップを固定ボタンで取り付けます。



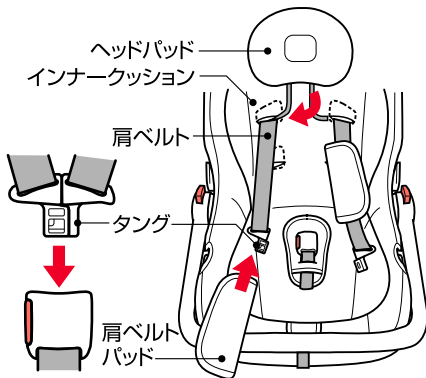
2

三角パッド・インナークッションを本体カバーの上のせ、バックルをバックルパッドに通します。取付金具をインナークッションに通し、座面の裏側から引き出してバックルを固定します。(下図) 肩ベルトを肩ベルト通し穴に通し、インナークッションの通し穴から肩ベルトを引き出します。



3

肩ベルトに肩ベルトパッドを通し、左右のタングを合わせてバックルに差し込みます。ヘッドパッドを本装置に取り付けます。



	液温は30℃を限界とし、手洗いしてください。		ドライクリーニングはできません。
	塩素系漂白剤は、使用できません。		日陰でつり干してください。
	アイロンがけはできません。	手絞りの場合は弱く、洗濯機脱水の場合は短時間で行ってください。強く絞ると、シワが残ることがあります。	

本装置のパッド類や部品を紛失・破損してご購入される場合は、本書巻末に記載の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。